

町政をたず



いわや
岩谷

つかさ
司 議員

問

燃油高騰に伴う町民への支援策について

答

国の給付金事業で対応、今後の燃油価格を注視しながら、必要とあれば速やかに実行できるよう準備をしていく



問 岩谷議員

現在燃油価格の高騰により、昨年11月の灯油1リットル88円から見ると1リットル当たり17円高くなっています。今年は何年になく積雪が多く、当町においても豪雪対策本部が設置され、もう一方では新型コロナウイルス（オミクロン株）がまん延し、五所川原保健所管内においても感染拡大が続き、いまだ先行きが見えない状況にある。

このような状況下で町民は、必要最低限の買い出し以外自宅で過ごすことを余儀なくされ、この寒さで灯油の消費が増大している。例年であれば、1か月平均およそ200リットルぐらいのところ、1・5倍若しくは2倍の消費量になっている世帯もあることから、町民に対して灯油高騰に係る支援策を考えられないか。町長の所見を伺いたい。

答 町長



最近の燃油の高騰は、各家庭の暖房費を始め、大量に燃料を消費する漁業や運送業などにとっても大きな負担となっていることは十分理解している。

現在、低所得の世帯と子育て世帯に対して、国は総額2億円規模の臨時特別給付金事業を実施しています。

これにより、町内の全ての世帯と言いつには行かないが、真に支援が必要な家庭では、当面の燃料費の高騰分には対応できるものと考えているが、今後も検討を重ね、燃油価格の推移を注視しながら、必要とあれば速やかに実行できるよう準備をしていく。

人口減少対策について

問 岩谷議員

当町における人口減少は歯止めがかからず、昨年12月末の住民基本台帳人口は7538人となっておりますが、令和2年国勢調査では5年前の調査より1000人以上減少している状況下にあるとともに、今後も減少し続けることが想定される。

そこで、次の人口減少対策として海上自衛隊潜水艦基地を誘致することは考えられないか。



現在の海上自衛隊潜水艦隊は、広島県呉市に12隻、神奈川県横須賀市に9隻の計21隻が配備されており、乗員1800人となっております。

当町付近の海図を見ると、潜水艦隊を誘致するにはつつつつけの地形であること、最近の中国とロシアの合同演習に伴う津軽海峡通過、北朝鮮の長距離飛行体発射等々、日本海をめぐる情勢が刻々と予断を許さない状況に変化していることから、日本海防衛のため当町に日本海唯一の潜水艦隊配備を防衛省に要望する気持ちはないのか。誘致企業もままならない状況下の人口減少対策としては、画期的と考えますが、町長の所見を伺いたい。

答 町長

人口減少については、全国的な社会問題と捉えています。

当町においても人口減少が加速し続けており、現状では、これに対して有効な方策もなかなか見いだすことができません。



出典：自衛艦隊ホームページ (mod.go.jp/msdf/)

しかしながら、提案の潜水艦基地の誘致は、これまで考えたことはなく、今後も検討する考えはない。

人口減少を食い止める対策

として、現状では特効薬的なものはないが、町の総合戦略の基本目標として「産業・雇用対策」「移住・定住対策」「少子化対策」「地域活性化対策」を柱として地道に取り組んでいく。

また、人口減少に対応していく方策も、併せて必要となってくることから、消防や衛生処理などの広域的な連携にも取り組んでいく。

定例会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に関する予算や条例の提案、議員の質問、採決などが行われます。次回は、6月上旬に定例会を開く予定ですので、皆さんの傍聴をお待ちしております。ただし、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴席での傍聴を規制等する場合がありますので、あらかじめご了承ください。議会の様子は、庁舎1階ホール及び2階の議会図書室に設置してあるテレビモニターでもご覧になることができます。

